

鹿児島県侵略的外来種カルテ

平成29年3月

栽培していたものが逸出したり近隣地域などから侵入して広がりました。鹿児島県では重要防除種、環境省では特定外来生物に指定され、島嶼を含む県内各地で確認されています。水生の在来植物を駆逐する影響があります。外来生物法で、栽培や野外に捨てることは禁止されています。既に県内各地に定着しています。自己の管理する池や水田・水路などで生育を確認したら、水系を介して分布が広がらないように注意し、除去して処分して下さい。

1 基本情報

分類	
目・科名	アリノトウグサ科
種名(亜種名)	オオフサモ
学名	<i>Myriophyllum aquaticum</i>
環境省カテゴリー	特定外来生物 緊急対策外来種
県カテゴリー	重要防除種
由来	国外由来外来種
侵略的外来種番付表	関脇(本土)
番付表掲載の理由	知名度の高い外来種
その他カテゴリー (日本生態学会ワースト100/IUCN 世界の侵略的ワースト100)	日本の侵略的外来種ワースト100
侵入・定着の状況	
自然分布域	南米
県内初報告	不明
県内への侵入の経緯	栽培逸出、近隣地域などからの侵入
県内の侵入分布	島嶼を含む県内各地
全国の侵入分布	ほぼ全国(青森、岩手、秋田、福島、新潟、石川の各県では未確認)
生態学的特性	
生態	茎が水中で分枝を繰り返して、群生する。植物体断片から根を出し、再生する力も優れている。
形態	多年草の抽水植物。 茎が水中をほうのように広がり、枝分かれを繰り返して群生する。茎はしばしば赤身がかかる。葉は5~6輪生。水上の葉は緑白色。水中の葉は繊細。花は白色。
繁殖形態	花期は6月ごろ、果実はできない。雌雄異株で日本では雌株のみが帰化。植物断片から再生する能力に優れる。
生息環境	暖温帯~熱帯の池沼、溜池、河川、水路などに生育する。県内では各地の中規模河川、ため池などで、川内川では、中流~下流で見られる。
特記事項	特定外来生物なので、学術研究や教育などを目的として、あらかじめ申請して許可を取得した場合を除き、飼育、保管、生きたままの移動等はできません。 パロットフェザーとも呼ばれています。



2 影響	
被害の実態・おそれ ①生態系にかかる被害 ②農林水産業への被害 ③人の生命身体への被害	①水生の在来植物を駆逐。
県内で特に予想される被害	県内の水生の在来植物を駆逐。
被害をもたらしている要因 ①生物学的要因 ②社会的要因	①水生の在来植物を駆逐。 ②栽培していたものの逸出。近隣地域からの侵入。
3 対策	
オオフサモを見つけたら	外来生物法で、栽培や野外に捨てることは禁止されています。既に県内各地に定着しています。自己の管理する池や水田・水路などで生育を確認したら、水系を介して分布が広がらないように注意し、除去して処分して下さい。
見分け方	オオフサモは、多年草の抽水植物。葉は粉白を帯びた緑色の線形で葉が3～7枚輪生する。類似種のフサモは、多年生の沈水植物。葉は小葉が4枚輪生する。
見かけやすい場所・時間	県内では各地の中規模河川、ため池などで、川内川では、中流～下流で見られる。
防除方法	抜き取りによる防除。
防除の取組事例	平成22年から国土交通省 大洲河川国道事務所による、愛媛県矢落川の河原での駆除作業が行われている。
その他	—
参考資料・参考URL	国立研究開発法人国立環境研究所 侵入生物データベース https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/80250.html Nature of Kagoshima 鹿児島県自然環境保全協会 http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/ オオフサモ(特定外来生物)の撤去の取り組みについて http://www.skr.mlit.go.jp/oozu/kisya/pdf_h23_kisya802.pdf